



2021年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場会社名 アニコム ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8715 URL <https://www.anicom.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)小森 伸昭
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 部長 (氏名)佐藤 裕史 (TEL)03(5348)3911
 四半期報告書提出予定日 2020年11月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	23,595	17.7	1,330	167.2	718	108.7
2020年3月期中間期	20,045	16.0	497	△62.9	344	△63.9

(注) 包括利益 2021年3月期中間期 1,138百万円 (140.1%) 2020年3月期中間期 474百万円 (△52.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期中間期	8.87	8.86
2020年3月期中間期	4.26	4.26

(注) 当社は、2020年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	53,221	24,613	46.2
2020年3月期	45,598	23,325	50.9

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 24,613百万円 2020年3月期 23,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2020年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	10.0	2,900	32.4	2,060	35.0	25.47

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2020年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期中間期	81,256,800	2020年3月期	80,903,600
② 期末自己株式数	2021年3月期中間期	40,676	2020年3月期	31,444
③ 期中平均株式数（中間期）	2021年3月期中間期	81,008,825	2020年3月期中間期	80,836,508

(注) 当社は、2020年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を実施しております。上記の発行済株式数（普通株式）につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、それぞれ算出しております。

(個別業績の概要)

1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	923	20.6	91	—	14	—	29	—
2020年3月期中間期	766	14.2	△7	—	△15	—	△14	—

	1株当たり中間純利益
	円 銭
2021年3月期中間期	0.37
2020年3月期中間期	△0.18

(注) 当社は、2020年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	22,698	16,814	74.1
2020年3月期	17,615	16,635	93.7

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 16,814 百万円 2020年3月期 16,499 百万円

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 4「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) セグメント情報	12
3. 中間財務諸表及び主な注記	15
(1) 中間貸借対照表	15
(2) 中間損益計算書	17
(3) 中間株主資本等変動計算書	18
(4) 継続企業の前提に関する注記	20
4. 補足情報	21
(1) 2021年3月期中間期 損益状況	21
(2) 経常収益の状況	22
(3) 種目別保険料・保険金	23
(4) 有価証券関係	24
(5) ソルベンシー・マージン比率	25

1. 当中間期に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルスとの共存が続いているものの、緊急事態宣言の解除後の経済活動は徐々に正常化に向かいつつあります。しかしその回復速度は業種・業態によって濃淡が出ているほか、感染拡大の第2波への懸念などから、先行きが不透明な状況が続いています。

このようななか、当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社の重点施策と位置付けている「ペット保険の更なる収益力向上」に向け、商品開発の強化や販売チャネルの営業活動強化などに注力したことに加え、堅調なペット飼育需要により、保有契約数は870,987件（前連結会計年度末から54,733件の増加・同6.7%増）と、順調に増加しております。また、E/I損害率注1)については、新型コロナウイルスの影響による在宅時間の増加等を要因として通院数が増加したことなどから59.3%と前年同期比で0.2pt上昇いたしました。既経過保険料ベース事業費率注2)は、規模拡大に向けた積極投資は継続しながらも経費管理を実施した結果、37.2%と前年同期比で0.6pt低下いたしました。この結果、両者を合算したコンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）は前年同期比で0.4pt低下し96.5%となりました。

また、アニコムグループは前連結会計年度より基礎固めから第二期創業期としてのフェーズへ移行する期がスタートしており、あらゆるデータから、病気・ケガを分析し、「健康度」を見る予防型保険会社グループへ成長するため、新規事業の重点施策に対する取組みを加速させております。遺伝子検査事業については、避けられる遺伝病を繁殖前後の遺伝子検査によって回避し、その後は遺伝子解析といった科学・技術・データに医療のサポートを加えたブリーディング支援に繋げていきます。加えて、腸内フローラ測定によるどうぶつ健康チェックの普及、共生細菌をキーにしたフード開発、生活習慣コンサル等の事業化を進めております。更に、どうぶつ医療における高度先進医療（細胞治療、再生医療）を実用化し、拡大を図るとともに、カルテ管理システム事業の拡大（予約システム等の機能の充実）等とあわせ、データのさらなる活用による予防法の開発、ペット関連事業の海外展開を目指しております。

以上の結果、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

保険引受収益21,190百万円（前年同四半期比11.3%増）、資産運用収益284百万円（同47.4%増）、新規事業等を含むその他経常収益2,120百万円（同162.0%増）を合計した経常収益は23,595百万円（同17.7%増）となりました。一方、保険引受費用15,125百万円（同10.9%増）、営業費及び一般管理費6,433百万円（同15.8%増）などを合計した経常費用は22,265百万円（同13.9%増）となりました。この結果、経常利益は1,330百万円（同167.2%増）となりました。また親会社株主に帰属する中間純利益は、特別損失に計上したソフトウェアの減損損失278百万円などの影響により、718百万円（108.7%増）となりました。

注1) E/I損害率：発生ベースでの損害率。

（正味支払保険金＋支払備金増減額＋損害調査費）÷既経過保険料にて算出。

注2) 既経過保険料ベース事業費率：発生ベースの保険料（既経過保険料）に対する発生ベースの事業費率。

損保事業費÷既経過保険料にて算出。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7,622百万円増加して53,221百万円となりました。その主な要因は、現金及び預貯金の増加6,551百万円であります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ6,334百万円増加して28,607百万円となりました。その主な要因は、社債発行による増加5,000百万円であります。なお、金融機関等からの借入金はありません。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1,288百万円増加して24,613百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益718百万円の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、保有契約の順調な増加により、責任準備金が850百万円増加したこと等により2,000百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べると22百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、610百万円の支出となりました。主に固定資産の取得による支出であり、前第2四半期連結累計期間に比べると5,661百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間では96百万円の支出、当第2四半期連結結果

計期間では5,000百万円の社債発行により5,160百万円の収入となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より6,551百万円増加し、28,128百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想のうち、連結業績予想につきましては、2020年5月12日に公表致しました決算短信中の「2021年3月期の連結業績予想」をご参照ください。なお、今後の業績推移により修正の必要が生じた場合には速やかに公表致します。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当中間連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	24,427	30,978
有価証券	9,999	10,814
貸付金	127	139
有形固定資産	1,858	1,988
無形固定資産	3,956	3,578
その他資産	4,263	4,835
未収金	1,923	1,944
未収保険料	508	533
仮払金	906	1,371
その他の資産	926	986
繰延税金資産	1,041	962
貸倒引当金	△75	△76
資産の部合計	45,598	53,221
負債の部		
保険契約準備金	17,977	19,037
支払備金	2,328	2,537
責任準備金	15,649	16,499
社債	—	5,000
その他負債	4,018	4,253
賞与引当金	209	242
特別法上の準備金	68	74
価格変動準備金	68	74
負債の部合計	22,273	28,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,981	8,174
資本剰余金	7,871	8,064
利益剰余金	7,868	8,486
自己株式	△0	△1
株主資本合計	23,719	24,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△530	△110
その他の包括利益累計額合計	△530	△110
新株予約権	135	—
純資産の部合計	23,325	24,613
負債及び純資産の部合計	45,598	53,221

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	20,045	23,595
保険引受収益	19,043	21,190
(うち正味収入保険料)	19,043	21,190
資産運用収益	193	284
(うち利息及び配当金収入)	99	133
(うち有価証券売却益)	93	150
その他経常収益	809	2,120
経常費用	19,547	22,265
保険引受費用	13,644	15,125
(うち正味支払保険金)	9,852	11,346
(うち損害調査費)	525	561
(うち諸手数料及び集金費)	1,747	2,158
(うち支払備金繰入額)	385	209
(うち責任準備金繰入額)	1,134	850
資産運用費用	1	38
(うち有価証券売却損)	1	1
(うち有価証券評価損)	—	36
営業費及び一般管理費	5,553	6,433
その他経常費用	348	668
(うち支払利息)	0	0
経常利益	497	1,330
特別利益	9	49
固定資産処分益	2	0
新株予約権戻入益	6	48
特別損失	26	293
固定資産処分損	11	3
その他	8	5
特別法上の準備金繰入額	6	6
価格変動準備金繰入額	6	6
減損損失	—	278
税金等調整前中間純利益	480	1,085
法人税及び住民税等	252	450
法人税等調整額	△116	△83
法人税等合計	136	367
中間純利益	344	718
親会社株主に帰属する中間純利益	344	718

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
中間純利益	344	718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	419
その他の包括利益合計	129	419
中間包括利益	474	1,138
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	474	1,138
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

（3）中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,950	7,840	6,443	△0	22,233
当中間期変動額					
新株の発行	5	5			11
剰余金の配当			△101		△101
親会社株主に帰属 する中間純利益			344		344
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)					
当中間期変動額合計	5	5	243	—	254
当中間期末残高	7,955	7,845	6,687	△0	22,488

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△150	△150	151	22,234
当中間期変動額				
新株の発行				11
剰余金の配当				△101
親会社株主に帰属 する中間純利益				344
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	129	129	△9	120
当中間期変動額合計	129	129	△9	375
当中間期末残高	△21	△21	142	22,609

当中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,981	7,871	7,868	△0	23,719
当中間期変動額					
新株の発行	193	193			386
剰余金の配当			△101		△101
親会社株主に帰属する中間純利益			718		718
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	193	193	617	△0	1,004
当中間期末残高	8,174	8,064	8,486	△1	24,724

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△530	△530	135	23,325
当中間期変動額				
新株の発行				386
剰余金の配当				△101
親会社株主に帰属する中間純利益				718
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	419	419	△135	284
当中間期変動額合計	419	419	△135	1,288
当中間期末残高	△110	△110	—	24,613

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	480	1,085
減価償却費	310	361
のれん償却額	25	112
支払備金の増減額 (△は減少)	385	209
責任準備金の増減額 (△は減少)	1,134	850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	33
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	6	6
利息及び配当金収入	△99	△133
有価証券関係損益 (△は益)	△92	△112
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△39
株式報酬費用	49	51
新株予約権戻入益	△6	△48
社債発行費	—	32
支払利息	0	0
減損損失	—	278
有形固定資産関係損益 (△は益)	8	2
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額 (△は増加)	△35	△730
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額 (△は減少)	199	417
小計	2,385	2,378
利息及び配当金の受取額	107	139
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△514	△516
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,978	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△8,962	△5,313
有価証券の売却・償還による収入	3,722	5,383
貸付けによる支出	—	△71
資産運用活動計	△5,240	△1
営業活動及び資産運用活動計	△3,261	1,999
有形固定資産の取得による支出	△209	△312
有形固定資産の売却による収入	8	3
無形固定資産の取得による支出	△303	△156
事業譲受による支出	△519	△104
その他	△7	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,271	△610
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	4,967
株式の発行による収入	8	299
リース債務の返済による支出	△4	△5
配当金の支払額	△101	△101
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96	5,160
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,389	6,551
現金及び現金同等物の期首残高	27,693	21,577
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,303	28,128

（5）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）セグメント情報

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、保険業法第3条に基づき損害保険業の免許を取得したアニコム損害保険株式会社が行う損害保険事業を中核事業としております。従って、損害保険事業を報告セグメントとしております。「損害保険事業」は、ペット保険の保険引受業務及び資産運用業務を行っております。また、シムネット株式会社が行う、ブリーダーとのマッチングサイトや譲渡などの里親マッチングサイトの運営等を「ペット向けインターネットサービス事業」として報告セグメントとしております。

当中間連結会計期間から、前連結会計年度末に株式会社シムネットの株式を取得し連結子会社としたことに伴い、従来の報告セグメントに「ペット向けインターネットサービス事業」を追加しております。なお、報告セグメントの変更が、前中間連結会計期間のセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は経常利益をベースとした数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	中間 連結財務諸表 計上額 (注) 2
	損害保険事業				
外部顧客への経常収益	19,244	801	20,045	—	20,045
セグメント間の 内部経常収益又は振替高	—	211	211	△211	—
計	19,244	1,013	20,257	△211	20,045
セグメント利益又は損失(△)	655	△157	497	—	497
セグメント資産	42,221	2,436	44,658	△522	44,136
セグメント負債	21,102	945	22,048	△522	21,526
その他の項目					
減価償却費	233	77	310	—	310
資産運用収益	192	0	193	—	193
支払利息	0	0	0	—	0
持分法投資利益又は 損失(△)	—	4	4	—	4
持分法適用会社への投資額	—	532	532	—	532
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	261	750	1,012	—	1,012

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、動物病院支援事業、動物医療分野における臨床・研究事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	損害保険事 業	ペット向け インターネ ットサービ ス事業	計				
外部顧客への経常収益	21,479	772	22,252	1,343	23,595	—	23,595
セグメント間の 内部経常収益又は振替高	90	72	163	255	418	△418	—
計	21,570	845	22,415	1,598	24,014	△418	23,595
セグメント利益又は損失(△)	1,231	201	1,432	△102	1,330	—	1,330
セグメント資産	47,421	2,724	50,145	3,616	53,762	△540	53,221
セグメント負債	27,700	260	27,961	1,187	29,148	△540	28,607
その他の項目							
減価償却費	271	1	273	88	361	—	361
のれんの償却費	—	66	66	45	112	—	112
資産運用収益	284	0	284	0	284	—	284
支払利息	0	—	0	0	0	—	0
持分法投資利益又は 損失(△)	—	—	—	39	39	—	39
持分法適用会社への投資額	—	—	—	793	793	—	793
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	294	1	295	213	508	—	508

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、動物病院支援事業、動物医療分野における臨床・研究事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への経常収益が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

「損害保険事業」セグメントの当中間連結会計期間における減損損失計上額は、278百万円であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

（単位：百万円）

	損害保険事業	ペット向けインターネットサービス事業	その他	全社・消去	合計
当中間期償却額	－	66	45	－	112
当中間期末残高	－	1,939	549	－	2,488

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,150	5,994
前払費用	111	76
未収入金	969	593
その他	0	7
流動資産合計	2,232	6,672
固定資産		
有形固定資産	103	98
無形固定資産	38	30
投資その他の資産		
投資有価証券	36	—
関係会社株式	14,780	15,480
長期前払費用	23	16
繰延税金資産	53	61
敷金	457	457
投資損失引当金	△110	△118
投資その他の資産合計	15,241	15,897
固定資産合計	15,383	16,026
資産合計	17,615	22,698
負債の部		
流動負債		
リース債務	5	5
未払金	135	96
未払法人税等	377	311
賞与引当金	10	13
預り金	13	12
その他	—	4
流動負債合計	542	444
固定負債		
社債	—	5,000
リース債務	7	9
長期預り保証金	431	431
固定負債合計	438	5,440
負債合計	980	5,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,981	8,174
資本剰余金		
資本準備金	7,871	8,064
資本剰余金合計	7,871	8,064
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	647	576
利益剰余金合計	647	576
自己株式	△0	△1
株主資本合計	16,499	16,814
新株予約権	135	—

純資産合計	16,635	16,814
負債純資産合計	17,615	22,698

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益		
経営管理料	763	920
関係会社受取配当金	2	3
営業収益合計	766	923
営業費用		
販売費及び一般管理費	773	832
営業費用合計	773	832
営業利益	△7	91
営業外収益		
受取利息	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
投資有価証券評価損	—	36
社債発行費	—	32
投資損失引当金繰入額	9	8
その他	0	0
営業外費用合計	9	77
経常利益	△15	14
特別利益		
新株予約権戻入益	6	48
特別利益合計	6	48
特別損失		
固定資産除却損	2	0
その他	—	0
特別損失合計	2	1
税引前中間純利益	△11	61
法人税、住民税及び事業税	10	39
法人税等調整額	△7	△8
法人税等合計	3	31
中間純利益	△14	29

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	7,950	7,840	7,840	716	716
当中間期変動額					
新株の発行	5	5	5		
剰余金の配当				△101	△101
中間純利益				△14	△14
自己株式の取得					
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	5	5	5	△115	△115
当中間期末残高	7,955	7,845	7,845	601	601

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△0	16,506	151	16,658
当中間期変動額				
新株の発行		11		11
剰余金の配当		△101		△101
中間純利益		△14		△14
自己株式の取得		—		—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△9	△9
当中間期変動額合計	—	△104	△9	△113
当中間期末残高	△0	16,402	142	16,544

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	7,981	7,871	7,871	647	647
当中間期変動額					
新株の発行	193	193	193		
剰余金の配当				△101	△101
中間純利益				29	29
自己株式の取得					
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	193	193	193	△71	△71
当中間期末残高	8,174	8,064	8,064	576	576

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△0	16,499	135	16,635
当中間期変動額				
新株の発行		386		386
剰余金の配当		△101		△101
中間純利益		29		29
自己株式の取得	△0	△0		△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△135	△135
当中間期変動額合計	△0	315	△135	179
当中間期末残高	△1	16,814	—	16,814

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 2021年3月期中間期 損益状況

(単位：百万円)

区分		前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	比較増減	増減率 (%)
経常 損益	保険引受収益	19,043	21,190	2,147	11.3
	(うち正味収入保険料)	(19,043)	(21,190)	2,147	11.3
	保険引受費用	13,644	15,125	1,481	10.9
	(うち正味支払保険金)	(9,852)	(11,346)	1,493	15.2
	(うち損害調査費)	(525)	(561)	35	6.8
	(うち諸手数料及び集金費)	(1,747)	(2,158)	411	23.5
	(うち支払備金繰入額)	(385)	(209)	△175	△45.6
	(うち責任準備金繰入額)	(1,134)	(850)	△283	△25.0
	資産運用収益	193	284	91	47.4
	(うち利息及び配当金収入)	(99)	(133)	34	35.0
	(うち有価証券売却益)	(93)	(150)	56	60.6
	資産運用費用	1	38	37	3,465.7
	(うち有価証券売却損)	(1)	(1)	0	64.3
	(うち有価証券評価損)	(-)	(36)	36	-
営業費及び一般管理費	5,553	6,433	879	15.8	
その他経常損益	460	1,452	992	215.5	
経常利益	497	1,330	832	167.2	
特別 損益	特別利益	9	49	39	407.3
	特別損失	26	293	267	1,003.4
	特別損益	△16	△244	△227	1,345.1
税金等調整前中間純利益		480	1,085	604	125.8
法人税及び住民税等		252	450	198	78.6
法人税等調整額		△116	△83	32	△27.7
法人税等合計		136	367	230	168.9
中間純利益		344	718	374	108.7
親会社株主に帰属する 中間純利益		344	718	374	108.7

（2）経常収益の状況

経常収益をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	対前年 増減(△)率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
損害保険事業(ペット保険)	19,244	21,479	11.6
損害保険(アニコム損害保険株)	19,244	21,479	11.6
(うち正味収入保険料)	19,043	21,190	11.3
ペット向けインターネットサービス事業	—	772	—
その他の事業	801	1,343	67.6
動物病院支援事業	109	121	11.1
保険代理店	7	7	△0.5
小動物先進医療臨床・研究	340	735	116.0
その他	343	478	39.3
合計	20,045	23,595	17.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種目別保険料・保険金

アニコム損害保険株式会社における保険引受の実績は以下のとおりであります。

① 元受正味保険料(含む収入積立保険料)

区分	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)			当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 増減(△)率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 増減(△)率 (%)
ペット保険	19,043	100.0	14.1	21,190	100.0	11.3
合計	19,043	100.0	14.1	21,190	100.0	11.3
(うち収入積立保険料)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(注) 元受正味保険料(含む収入積立保険料)とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります。(積立型保険の積立保険料を含む)

② 正味収入保険料

区分	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)			当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 増減(△)率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 増減(△)率 (%)
ペット保険	19,043	100.0	14.1	21,190	100.0	11.3
合計	19,043	100.0	14.1	21,190	100.0	11.3

③ 正味支払保険金

区分	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)			当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 増減(△)率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年 増減(△)率 (%)
ペット保険	9,852	100.0	8.7	11,346	100.0	15.2
合計	9,852	100.0	8.7	11,346	100.0	15.2

（4）有価証券関係

企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

1. 満期保有目的の債券

該当事項はありません。

2. その他有価証券

前連結会計年度(2020年3月31日)

種類		連結貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	—	—	—
	その他	2,617	2,450	166
	小計	2,617	2,450	166
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	169	224	△55
	その他	6,049	6,896	△847
	小計	6,218	7,121	△903
合計		8,835	9,571	△736

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

当中間連結会計期間(2020年9月30日)

種類		中間連結貸借対照表計上額(百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1	0	1
	その他	5,541	5,366	175
	小計	5,543	5,366	176
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	131	160	△28
	その他	3,918	4,219	△301
	小計	4,049	4,379	△330
合計		9,593	9,746	△153

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

(5) ソルベンシー・マージン比率

アニコム損害保険株式会社の「ソルベンシー・マージン比率」については、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年3月31日) (百万円)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日) (百万円)
(A) ソルベンシー・マージン総額	18,747	19,819
資本金又は基金等	17,572	17,971
価格変動準備金	68	74
危険準備金	—	—
異常危険準備金	1,458	1,473
一般貸倒引当金	364	423
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△736	△153
土地の含み損益	19	29
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額 $\sqrt{\{(R1+R2)^2+(R3+R4)^2\}}+R5+R6$	10,502	11,083
一般保険リスク(R1)	10,179	10,778
第三分野保険の保険リスク(R2)	—	—
予定利率リスク(R3)	—	—
資産運用リスク(R4)	1,373	1,194
経営管理リスク(R5)	231	239
巨大災害リスク(R6)	—	—
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率(%) $[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$	357.0%	357.6%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・この「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ① 保険引受上の危険：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険
 （一般保険リスク） （巨大災害に係る危険を除く）
 （第三分野保険の保険リスク）
 - ② 予定利率上の危険：積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回る
 （予定利率リスク） ことにより発生し得る危険
 - ③ 資産運用上の危険：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し
 （資産運用リスク） 得る危険等
 - ④ 経営管理上の危険：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 （経営管理リスク）
 - ⑤ 巨大災害に係る危険：通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
 （巨大災害リスク）

- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用する客観的な指標のひとつではありますが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。